



三郷市立彦成小学校

令和5年度学力向上

グランドデザイン



数値目標

目標①：埼玉県学力・学習状況調査

R5：全項目県以上の伸び R6：県以上の伸び

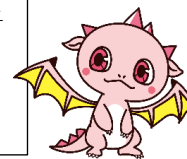
目標②：総合学力調査

全学年全国平均正答率越え（国・算ともに）

丈夫でがんばる子・きまりを守り助け合う子・よく考え自分から進んでやる子

気力あふれる児童の育成

～家庭・地域共に、児童の非認知能力を育む学校～



気力の育成

「わかった!」「できた!」
基本的スキル・知識の習得、自己効力感の獲得

「もっと!」「やりたい!」
探求心・主体性の発生

授業改善!～非認知能力の育成～

《価値あるざっくばらんな関わり合い活動》…協調性・合意形成能力

児童の姿

- ・課題解決に向けて、全員が思ったことを素直に話し合う。
- ・互いの思いや考えを尊重する。
- ・教師や友達への忖度なく話し合える。

教師の手立て

- ・学びの必要感や興味関心を持たせる導入や発問をする。
- ・月例授業で取り組んだ手立てを、教員間で検討する。

関わり合いを通して、認知能力と非認知能力を相互に高める!

《振り返りの充実》…メタ認知力

振り返りの視点を与えたり、組み合わせたりすることで、学習の進み具合や児童の学習・能力に応じた振り返りができるようにする。

《ICTの活用》…思考の整理

問題場面を分かりやすく提示したり学習課題への興味関心を高めたりするとともに、児童が考えを整理したり、考えを伝え合うときのツールとして活用したりできるようにする。

《彦小タイム》…忍耐力・持続力・回復力

基礎的基本的な学習内容を定着させる。

毎週火曜日と木曜日の15分間。児童間で丸付けをしたり、考え方を伝えたりすることで、学習の質と量を向上させる。

月末には彦小テストを実施し、彦小タイムで取り組んだ内容の定着具合を確認する。



リンク! 彦小タイムと家庭学習を関連づけることで、価値あるものにする。*学習方略の獲得

《家庭学習》…思考力・自己決定

学習習慣の定着、課題解決する力や物事に継続して取り組む力を身に付けることを目的として、毎日取り組む。6年間のゴールの姿として「自分にとって必要な家庭学習の内容と時間配分の自己決定（内容と時間の管理）」ができるように各学年の目指す姿（目標）を設定する。

基本的な家庭学習の内容

- ①音読、漢字、算数
- ②彦スタ（自主学習）

*漢字・算数・彦スタに取り組んだ時間や意図をもってその家庭学習に取り組んだのかを記入する。

《学力を支える学級経営》～わからないことをわからないと言える学級～

- ・基本事項【授業の心得・彦成小よい子の約束・年間生活目標・毎月の生活目標】を徹底する。
- ・丁寧に取り組む姿勢【学習用具の正しい使い方、書き方（描き方）、整理整頓の仕方など】を徹底する。
- ・「間違い」や「わからない」を学び合う好機とする雰囲気醸成する → わからないことをわからないと言える学級
- ・物事に対して、全力で取り組む経験や体験をさせる → 自分の強みや良さ見つけられる学級